

岐阜県

レジ袋削減から始める地球温暖化対策

岐阜県では、「CHANGEマイライフ」を合言葉に、地球温暖化対策に取り組んでいます。一つは、「マイバッグ使用宣言」「マイはし使用宣言」など身近にできる10



の取組みをまとめた「ぎふエコ宣言」に賛同いただける方を募集しており、昨年6月に始めて以来これまでに約8万人もの県民の皆さんに参加し、取り組んでいただいています。

また、こうした取組みと並行して本県で積極的に展開しているのが、レジ袋削減につながる「レジ袋の有料化」です。これは、事業者、住民、市町村、県が一体となった岐阜県独自の4者協定方式で進めており、導入からわずか1年程度(3月1日時点)で、県内42市町村のうち40市町村で導入、参加店舗数も800店を超えるなど予想を大きく上回るペースで広がっています。加えて、有料化後のレジ袋辞退率は9割程度に上昇するなど、マイバッグ使用によるレジ袋削減の意識は県民に広く着実に浸透しつつあります。

こうした本県の盛り上がりを全国に向けて情報発信し、より活性化させることを目的として、昨年12月1日に岐阜市内において「レジ袋有料化全国大会」を開催しました。当日は、富山県や東京都杉並区の先進的な取組みの紹介や、「住民・事業者・行政が一体となった取組み」をテーマとするパネルディスカッションを行い、約500人の参加者が熱心に耳を傾けました。



「レジ袋有料化全国大会」の様子

今後は、「ぎふエコ宣言」参加者の拡大、県内全市町村でのレジ袋有料化開始と参加店舗の拡大を図りながら、レジ袋削減をきっかけとする「ごみの減量化」や「岐阜県地球温暖化防止基本条例」(仮称)の制定など、さらなる地球温暖化対策を推進していきます。

岐阜県環境生活部地球環境課

☎058-272-1111(内線2694)

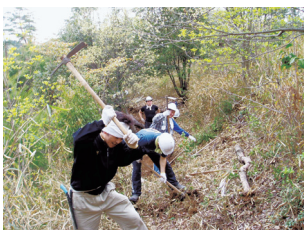
御嵩町

「自然と人間が共生する新たな循環型社会」への取り組み

濃尾平野の北東の端に位置する人口約2万人の御嵩町は、約6割を森林が占め、また江戸時代には中山道の宿場町として栄えた、自然と歴史の調和する里山のまちです。

本町では、平成9年の全国初の産業廃棄物処理施設計画に係る住民投票の実施を契機に、御嵩町環境基本条例と環境基本計画を制定するなど、環境保全活動を重点に推進してきました。また、産廃問題については、昨年3月に県、事業者、町の三者による全面和解が成立し、事業者が申請を取り下げることとなりました。こうした流れの中で、負のイメージを脱却し、「環境先進の町」への転換を図るため、低炭素社会を目指したまちづくりを進めています。

CO₂吸収対策として、森林整備や間伐材の搬出・有効活用を目指して、500ha以上の森林を集約化し、路網整備や機械化による効率的な森林づくりを推進しています。また、垂臨界水処理技術を活用し、林地残材(小径木や枝等)から工業原料(バイオエタ



企業と協働による森林づくり

ノール、キシロオリゴ糖、リグニンペレット)を製造する木質系バイオマス推進プロジェクトにも参画し、その実用化を目指しています。さらに、里山再生のために、NPOやボランティア、企業による間伐、下草刈りなど、多様な主体による森林づくりを推進しています。

また、CO₂削減対策として、商工会や地元建設業者とも連携して、各種研修を実施し、中小企業のCO₂削減に向けた省エネ対策や地元工務店による高気密・高断熱住宅の建設促進に向けた取り組みを進めています。



子どもによるソーラーカーづくり

今後は、太陽光発電やBDF、バイオエタノールなど新エネルギーの積極的な利活用を促進していきます。また、地元企業や大学、高校、商工会など産学官連携のもと、エコビジネスへと展開できる仕組みづくりや積極的な情報提供、各種研修などを実施しながら、自然と人間が共生する新たな循環型社会の構築を目指していきます。

岐阜県御嵩町役場総合政策課

☎0574-67-2111